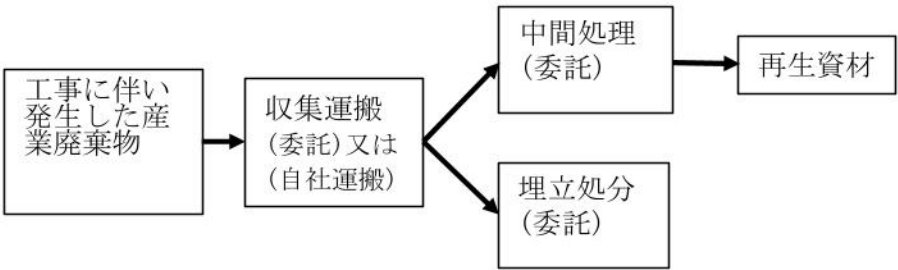
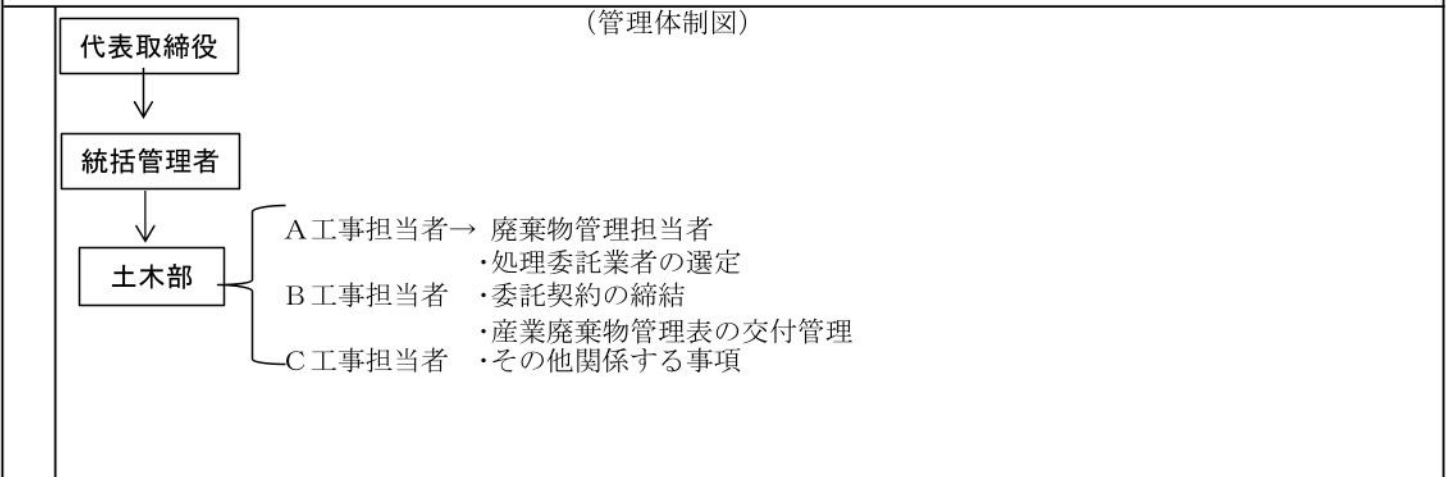


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 5 年 6 月 19 日</p> <p>群馬県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 〒377-0312 住 所 群馬県渋川市小野子1579番地 氏 名 株式会社佐藤建設工業 代表取締役 佐藤本位田 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0279-59-2306</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 佐藤建設工業
事業場の所在地	群馬県渋川市小野子1579番地
計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
②事業の規模	4億5,589万円(2022年度元請完成工事高)
③従業員数	46人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR A[工事に伴い発生した産業廃棄物] --> B[収集運搬(委託)又は(自社運搬)] B --> C[中間処理(委託)] B --> D[埋立処分(委託)] C --> E[再生資材] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	排出量	1.35 t	0.88 t	9.04 t	0.57 t	9.49 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	2003.54 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)										
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物発生時に分別を徹底している。 発注先との協議を実施。 汚泥は水分を含まないように管理。 施工時には、手戻り・手直しをしないよう手順の確認をする。 										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	排出量	1.10 t	1.00 t	7.50 t	0.50 t	7.50 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	1600.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)										
	<ul style="list-style-type: none"> 資材の発注の際、余剰がないようにする。 上記は受注量・工種・施工方法等により産廃発生量が予測し難いため、目安とする。 										

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、木くず、金属くずは分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、がれき類についても分別を実施。 混合廃棄物を削減する。 廃プラスチック類は、焼却する物と破砕するものに分ける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も実施の予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・今後も実施の予定はない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	全処理委託量	1.35 t	0.88 t	9.04 t	0.57 t	9.49 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	2019.96 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.44 t	0.88 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	1.35 t	0.88 t	9.04 t	0.57 t	9.49 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	2017.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・優良認定処理業者の処理の委託を積極的に行う。										

		【目標】										
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
②計画	全処理委託量	1.10 t	1.00 t	7.50 t	0.50 t	7.50 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	1600.00 t	0.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.80 t	1.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	1.10 t	1.00 t	7.50 t	0.50 t	7.50 t	0.00 t	1.30 t	0.00 t	1600.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生利用、熱回収が可能である産廃物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 優良認定処理業者から選定する。 電子マニフェストを積極的に利用する。 										
※事務処理欄												